

## 東三河支部

## 新年会開催

東三河支部（松井忠博支部長）は1月11日（水）午後5時30分から、しゃぶしゃぶ らく楽（豊橋市花園町）で41名が出席して新年会が行われました。来賓として協会から渡邊 修専務理事が出席されました。



新年会は、彦坂真樹委員の司会進行で執り行われ、松井支部長は挨拶で「昨年12月に530運動環境協議会に協力するかたちで、不法投棄ごみ撤去作業を実施しました。当日は会員各社から多数の方がご参加いただき、心より感謝申し上げます。皆様のご協力もあり現場はみるみるうちに片付き、さすが我々プロの手にかかれば作業が早い、と改めて感心しました。また協会の新年交礼会は、430名の会員が出席され盛大に行われたことから、協会が大きく発展していると感じました。本年も支部の活性化に皆様ともに取組んで参りますので、ご協力をお願いいたします。」と述べました。

挨拶をする松井支部長

渡邊専務理事からは「協会もダイコーの問題では、適正処理の遵守について推進が図られ、2月頃には落ち着きそうだとの見通しです。また東山動植物園で発生した鳥インフルエンザについて、東三河支部には豊橋動物園がありますが、感染が広がらないことを願います。」と述べられました。その後、竹内臨通夫副支部長から「行政機関へ新年の挨拶に出向いたところ、去年の支部活動の評価が高く、今後の活動にも注目している、と我々の励みとなることばをいただきました。」と述べ、乾杯の発声をしました。会食ではそれぞれに食事を楽しみ、各席では会員同士が情報交換などを行い有意義な新年会となりました。

